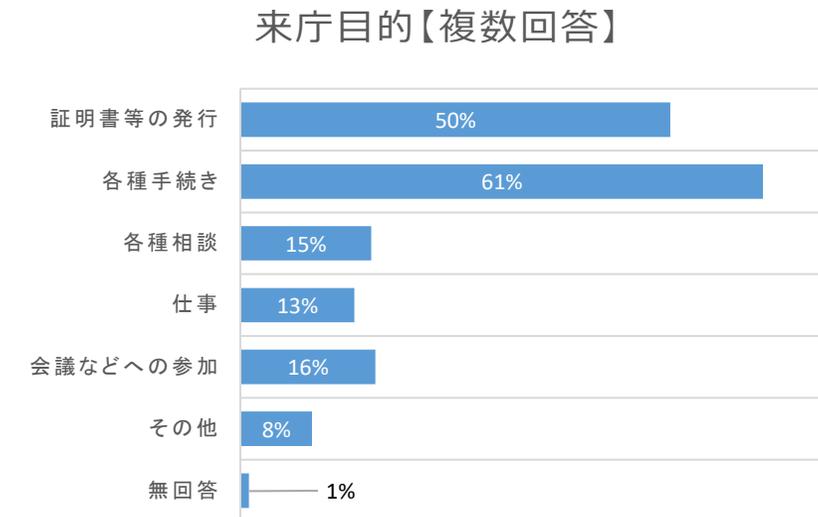
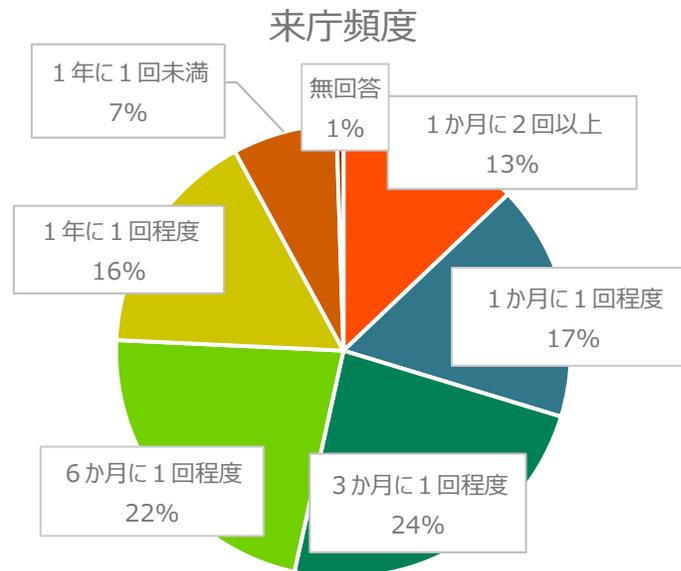
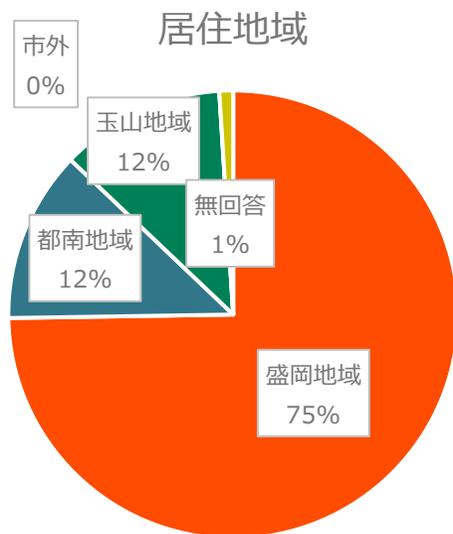
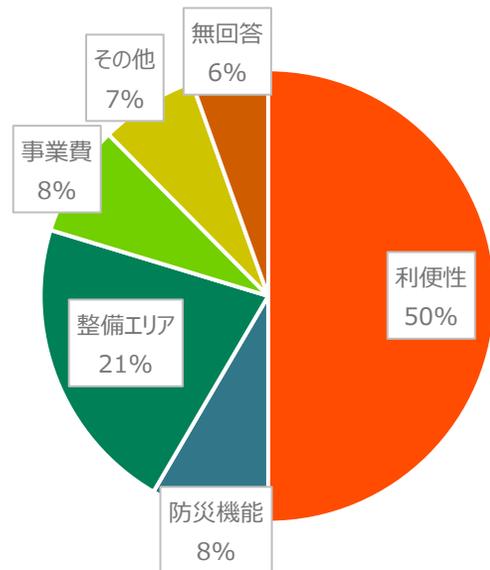


市民説明会におけるアンケート結果について

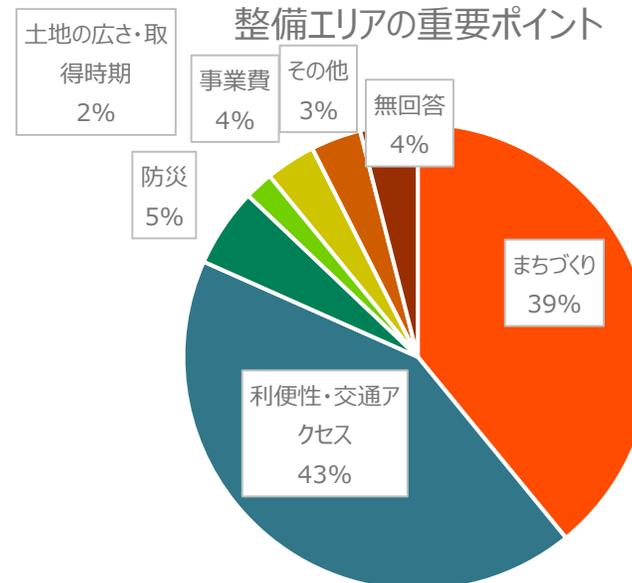
R5.11 市民説明会アンケート結果 参加者数：267名 回答者数：202名 回収率76%



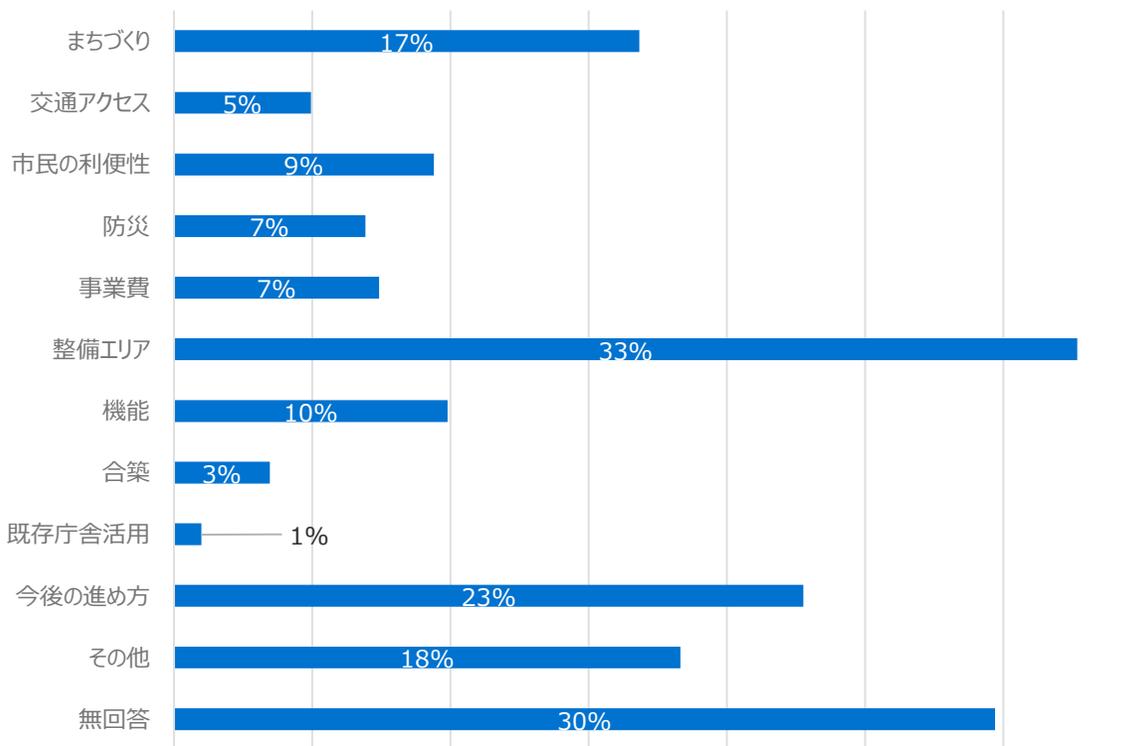
新市庁舎整備の重要ポイント



整備エリアの重要ポイント



新市庁舎に対する意見【自由記載】



【まちづくり】

- ・将来のまちづくりを考慮し、各候補エリアのまちのあり方を考えるべき。
- ・市庁舎整備を契機とし、盛岡のまちづくりを推進して欲しい。

【交通アクセス】

- ・子どもから高齢者まで、誰もがアクセスしやすい場所を選定するべき。

【市民の利便性】

- ・バリアフリーとし、どこにどの部署があるのかわかりやすい庁舎にするべき。
- ・市庁舎を利用する世代にとって使いやすい庁舎として欲しい。

【防災】

- ・災害時に行政機能が停滞しないような庁舎として欲しい。
- ・多発化、激甚化する災害への対策を第一に考えるべき。

【事業費】

- ・将来世代への負担をなるべく少なくして欲しい。
- ・簡素なつくりとし、行政機能が最大限発揮できる庁舎とするべき。

【整備エリア】

- ・歴史性を大事にし、内丸エリアに整備して欲しい。
- ・市有地があり、利便性の高い盛岡駅西エリアを希望する。
- ・都南村との合併協定の経緯から、盛南エリアが最適である。

【機能】

- ・必要台数を十分に確保した駐車場を整備するべき。
- ・整備する場所によって求められる機能が変わることを理解するべき。

【合築】

- ・他の行政機関等との合築を考えるべきではないか。

【今後の進め方】

- ・まだまだ時間をかけて検討するべき。
- ・若い世代に向けた説明会やワークショップを開催して欲しい。
- ・市民全体が納得できるような方向性を示して欲しい。

【既存庁舎の活用】

- ・現庁舎を活用し、必要に応じて近隣の建物を間借りすることで、建て替えよりも安い費用で済むのではないか。

【その他】

- ・盛岡の歴史を感じられる外観として欲しい。
- ・庁舎の整備と併せて、公共交通のあり方も検討するべき。
- ・コンクリート造りとするか木造とするか、検討が必要ではないか。